

【町田忠生小山エリア中学校給食センター】 WS実施報告

町田中学校給食サービス株式会社

実施概要

第1回 町田忠生小山エリア中学校給食センター ワークショップ

■ 名称 地域に開く新たな学校給食センター

～食べて 遊んで 学ぶ～ 市民主体の交流スペースとなるような参加型ワークショップ

■ 開催日程 2024年8月10日（土） 午前10:30～12:00

■ 開催場所 木曽山崎コミュニティセンターB館大会議室（町田市山崎2160-4）

■ 参加者 44名

■ 参加費 無料

- 実施内容
1. 開会挨拶(町田市保健給食課長)
 2. 施設概要説明（町田中学校給食サービス株式会社 代表取締役 嶋津厚志）
 3. ワークショップ開催・意見交換・発表
 4. 総評（株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役 関幸子）
 5. アンケート実施
 6. 次回への課題
 7. 閉会挨拶（町田中学校給食サービス株式会社 代表取締役 嶋津厚志）

■ 共催 町田市/町田中学校給食サービス株式会社

■ 協力 株式会社ローカルファースト研究所

開催報告

1.開会挨拶

町田市教育委員会学校教育部保健給食課長

【内容】

- ①挨拶
- ②中学校給食センターについて
- ③ワークショップ開催について

【中学校給食センターについて】

2025年4月に旧忠生地第六小学校跡地に中学校給食センターが開業します！

この施設は、中学校に給食を提供するだけでなく、地域に住む幅広い世代の市民が、食を通して健やかな暮らしを送ることに貢献できる、今までにない「新たな給食センター」です。

【ワークショップ開催について】

「食べて 遊んで 学ぶ 地域に開く新たな学校給食センター」をテーマとして、市民主体の交流スペースとなるように参加型ワークショップを開催します。



開催挨拶（町田市保健給食課長）



給食センター完成イメージパース



CAFE完成イメージパース

開催報告

2.施設概要説明

町田中学校給食サービス株式会社：代表取締役 嶋津厚志

【内容】

①ラウンジコーナー

- ・食に関する情報発信
- ・アレルギー専用食弁当の販売

②カフェスペース

- ・予約制で給食ランチの提供
- ・健康や子育て情報の提供

③屋内遊戯室

- ・天候を気にせず遊べる
- ・対象は小学校低学年まで

④多目的遊具付き広場

- ・複合遊具を設置
- ・テラスにベンチがある

⑤多目的室 1

- ・キッチンを設置
- ・料理教室や子ども食堂

⑥多目的室 2

- ・ワークショップ開催
- ・お子様のイベント実施



食べて 遊んで 学ぶ 地域に開く新たな学校給食センター
町田忠生小山西エリア中学校給食センター

2025年4月に旧忠生第六小学校跡地に中学校給食センターが開業します！
 この施設は中学校に給食を提供するだけでなく、地域に住む幅広い世代の市民が、食を通して健やかな暮らしを送ることに貢献できる、今までにない新たな給食センターです。

様々な情報もキャッチできるラウンジコーナー

広々としたラウンジコーナーには掲示版など情報発信機能も併設。食を通じた健康や子育ての情報を収集することが可能です。

天候を気にせず遊べる屋内遊戯室

天候を気にすることなく遊べる屋内遊戯室。赤ちゃんから小学校低学年くらいのお子さんを対象としています。

目的に合わせて使い分けられる多目的スペース

多目的室1にはキッチンを完備。料理教室や子ども食堂はもちろん、畳スペースもあるので、小さなお子様連れの食育イベントなど多様な使い方が可能です。多目的室2はおしゃれなカフェスペースに併設されたガラス張り開放的な空間。ワークショップやお子様のパーズパーティーなど、明るい雰囲気だからこその楽しいイベントにおすすめです！

おしゃべりなカフェスペース

市の木である「ケヤキ」と「グリーン」を組み合わせた自然豊かな町田市の象徴となるような居心地の良いカフェスペース。予約制で給食ランチの提供や、アレルギー食対応弁当の販売を計画しています。

多目的遊具付き広場

複合遊具を設置した広場。広場に面したテラスにはベンチがあるので、遊んでいるのを見ながら、ほっと一息ブレイクタイムも可能。

※図面・写真はイメージです。実際のものとは異なる場合がございます。

実施概要

3.ワークショップ

ワークショップの進め方

- ① ワークショップの目的と進め方説明。
 - ・今回のワークショップは、「ワールドカフェでの対話方式」で実施。
 - ・ワールドカフェでの対話方式の目的。
 - (1) 少人数でのグループ分けにより、一人一人が意見を出しやすい環境を作る。
 - (2) 特定のトピックスに関して、お互いの意見の違いを理解し、質問によって相手の知性を引き出す。
- ② 班で司会、発表者を決める。3人のファシリテーターが各2班を担当し、潤滑油の役割を果たす。
- ③ テーマを3つ掲げ、それに合わせて対話を進めていく。
 - 問1 「キッチン付き多目的スペースをどのように活用したいですか」。
 - 問2 「市民交流スペースでどのようなイベントや催事をやりたいですか、また開催してほしいですか」。
 - 問3 「ここは食べて、遊んで、学べます。誰と来たいですか。誰とお友達になりたいですか」。
- ④ 各班ごとに発表（1～6班）。
- ⑤ 総評。

到達目標

- 1 町田市の施設整備の想いを知ってもらう。
- 2 市民に本施設の機能と広さを知ってもらう。
- 3 ワークショップを通じて、自分が参加したい、来場したくなる気持ちの醸成。
- 4 市民の仲間づくり、グループ形成のきっかけをつくる。
- 5 自分でイベントや事をやりたくなるきっかけづくり。

開催報告

3.ワークショップ

班名：1班

項目	私がやりたいこと	私ができること ボランティア等 貢献できること
【空間活用】 市民交流スペース 多目的室 カフェ 屋内遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> 卓球台を設置し、地域の方と多世代交流をしたい。 多目的室のキッチンの運営は、公共で行うべき。 親子料理教室。 栄養士が給食のレシピを紹介し、そこで料理を作る。 給食の試食会を地域の皆様も一緒に行う。 男性料理教室。 	<ul style="list-style-type: none"> サークル活動で支援したい。 子ども食堂に参加したい。
【ソフト・事】 イベント 催事 ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 屋外広場で、防災イベントを開催。 市民がテントを張るような避難所体験。 子どもが自転車を練習するスペース確保。 生産農家との交流（健康づくりイベント）。 マルシェ、フリーマーケット、キッチンカー。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントで交流したい。
【仲間づくり】 市民やグループ なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> ママ友づくり（子ども食堂、誰でも参加OK）。 収穫祭（収穫ボランティアをつくる）。 子ども、親世代、お年寄りの3世帯交流。 	



【その他、特記事項】

- ・学校給食センターの充実を図ってほしい（内容、献立等）。
- ・遊具は必要ない。
- ・給食センターの社会科見学会の開催。

開催報告

3.ワークショップ

班名：2班

項目	私がやりたいこと	私ができること ボランティア等 貢献できること
【空間活用】 市民交流スペース 多目的室 カフェ 屋内遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室のキッチンで、地域の方に料理を提供（使用料は200円～300円くらい）。 ・郷土料理の提供。 ・オープンを使用し、親子お菓子作り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室の利用は、雨の日など、駐車場の台数が少ないと難しい。台数を多めにしてほしい。 ・子どもが安心して遊べる（水遊び等）環境整備。 ・遊戯室内でも飲食可能ならば、ママ友とお茶しながら子どもと遊べる。
【ソフト・事】 イベント 催事 ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェでは、町田市の農家や地元野菜を利用。 ・お菓子・給食の提供、料理教室の開催。 ・地元野菜の販売（道の駅）。 ・リーズナブルな値段で買い物をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水スポット。 ・サークル活動の打ち上げに使いたい。 ・利用時間は夜遅めにしてほしい。 ・土日、長期休業時も給食が食べたい。 ・給食レシピの料理教室。
【仲間づくり】 市民やグループ なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル申込以外でも、飛び込みで参加できるようなイベントを実施してほしい。 ・販売・提供する人は、町田市民が望ましい（町田市や料理について気軽に話したい）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の友達にも案内できるような施設にしたい。 ・給食室の見学会の開催（食中毒予防など）。 ・桜美林大学や山崎中学校の生徒と交流会。



【その他、特記事項】

- ・使用料は安く、多目的室の人数は、一度に20名の利用ができるようにしてほしい。
- ・駐車場・駐輪場は、周辺に無断駐車しないようにしてほしい。
- ・質問箱の設置。
- ・室外広場に、日影が欲しい。
- ・植樹募集（花やハーブを植えてみたい）。

開催報告

3.ワークショップ

班名：3班

項目	私がやりたいこと	私ができること ボランティア等 貢献できること
【空間活用】 市民交流スペース 多目的室 カフェ 屋内遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな料理教室の開催（まちベジ、減塩、世代別給食）。 ・クリスマス、バレンタイン、FC町田ゼルビアとのコラボ。 ・給食センターの見学ツアー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアではなく、やりたい人を集めるシステムがあると良い。
【ソフト・事】 イベント 催事 ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が集える居場所づくり（ドリンクバー、勉強スペースの開放）。 ・土日でも給食が食べたい。 ・インスタ映えできるイベントの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔あそび（子供との交流）。 ・「給食を食べる会」があると良い（皆で飾りつけなどをする）。 ・夏休みも給食が食べたい。 ・給食のテイクアウトをしてほしい。
【仲間づくり】 市民やグループ なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを多くして、気軽に一人でも参加できるようにしてほしい。 ・同世代、多世代が交流できると良い。 ・中高生の安全な居場所を作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みにイベントをしてほしい。 ・予約システムは、簡単にしてほしい。



【その他、特記事項】

- ・貸室の料金設定が気になる。

開催報告

3.ワークショップ

班名：4班

項目	私がやりたいこと	私ができること ボランティア等 貢献できること
【空間活用】 市民交流スペース 多目的室 カフェ 屋内遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのバースデーパーティやクッキーを作りたい。 駐車場は、多めにしてほしい。 色々な教室を増やしてほしい（ヨガ教室、陶芸教室、料理教室など）。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアで先生を紹介していく制度の確立。
【ソフト・事】 イベント 催事 ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ドッジボールの出来る広場がほしい。 フリースペースで外遊びが出来る広場がほしい。 お祭りの開催。 カフェスペースで美味しいコーヒーを飲みたい。 美味しいコーヒーの入れ方教室。 	
【仲間づくり】 市民やグループ なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> お祭りなどの開催時に、実行委員を募集し交流を広げたい。 農園を作り、収穫祭をしながらの仲間づくり。 	



【その他、特記事項】

- ・駅からのコミュニティバスがあると良い。
- ・体育館が早く建つと良い。
- ・この地域は、高齢化が進んでいる地域。
- ・複合施設の方が、活用しやすい。
- ・楽しくディスカッションが出来ました。

開催報告

3.ワークショップ

班名：5班

項目	私がやりたいこと	私ができること ボランティア等 貢献できること
【空間活用】 市民交流スペース 多目的室 カフェ 屋内遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> ・少し、子どもを預かってもらうなどして地域と交流したい。 ・やりたいことを試せる場所（起業する場所）づくり。 ・いつでも予約なしでカフェで給食を食べたい。 ・発達障害の方が働ける場所づくり。不登校の子ども居場所づくり。 ・高齢化進み、作るのが大変になるので、カフェで会話をして食べる楽しみに繋げる。 	
【ソフト・事】 イベント 催事 ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの栄養講座や料理教室を開催。 ・本に出てくる食事を作ってみる（読み聞かせも食育に繋げる）。 ・子どもだけでなく、大人向けのイベントの開催（竹を割って、流しそうめんを作る食育イベント）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットが出来ない人向けに、ラウンジコーナーを設置。ネットに載らない小さな情報交換を行う（団地のイベントなど）。 ・他の場所ではできないイベントの実施（給食センターを利用した、親子料理教室など）。
【仲間づくり】 市民やグループ なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ママ友、子ども、家族できたい。 ・一人でも交流が出来る居場所づくり。 ・近所の人との交流の場づくり。 ・イベント時に、URの駐車場を借りる事で団地の人との交流が生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・同好会を発足し、大きなジャンルで呼びかけを行い、小さなジャンルに繋げていくような仲間づくり。



【その他、特記事項】

- ・駅前に子連れで集まれる場所がないので、他の地域からも来れるように無料バスを運行してほしい。
- ・コロナ後、引きこもりが多いので、認知症に繋がらないようにする。
- ・ソロ活動の人も楽しめる居場所づくり。

開催報告

3.ワークショップ

班名：6班

項目	私がやりたいこと	私ができること ボランティア等 貢献できること
【空間活用】 市民交流スペース 多目的室 カフェ 屋内遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> ・健康維持（年を重ねても出来るスポーツ卓球）。 ・防災（食を楽しむ防災拠点づくり、安心できる食の提供）。 ・将来性（他にない施設づくり、楽しみしかない施設づくり、子ども食堂） 	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球サークルに入っているので仲間への呼びかけ。 ・現役栄養士なので食育イベント。 ・防災士なので防災イベント。 ・三世代交流（子ども、親、おじいちゃん・おばあちゃん）。
【ソフト・事】 イベント 催事 ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談・医療相談（バイタルチェック、血圧測定）。 ・栄養士による料理教室。 ・働く保護者がお迎えついでにお惣菜を受け取るサービス。 ・防災食調理の教室（器具の使い方など）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食メニューを食べられるようなイベント。
【仲間づくり】 市民やグループ なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に入れる卓球教室での仲間づくり。 ・子ども食堂。 ・多世代交流イベント。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球サークル終了後に気軽に入れるカフェ。



【その他、特記事項】

・給食センターを「工場」と呼ぶのはいかがでしょうか。

開催報告

4.総評

地方創生アドバイザー 関幸子（ローカルファースト研究所）

【ワークショップの総評】

町田市民の自由な発想と市民力の高さ、積極的な意見交換に、とても質の高いワークショップとなりました。通常の給食センターとは違い、多目的室やカフェ、遊戯室などを、皆様のアイデアにより様々な活用方法を創出し運用することで、子どもからお年寄りまで、様々な世代間交流が深まり、「顔の見える仲間づくり」に繋がっていく。皆様には、是非このチャンスを活用して、「一人でも楽しめる、仲間と一緒に楽しめる」施設づくりを目指してほしいと思います。



アンケート集計結果

* アンケート回答者数：40名

5. アンケート結果

1. ワークショップ参加のきっかけ

Q1 ワークショップの開催は何を通じて知りましたか？

<input type="checkbox"/> 広報まちだ 11名	<input type="checkbox"/> 市ホームページ 6名	<input type="checkbox"/> メール (tetoru/teams含む) 5名	<input type="checkbox"/> チラシ 10名	<input type="checkbox"/> その他 11名
---------------------------------------	--	---	-------------------------------------	-------------------------------------

Q2 参加を決めるにあたって一番興味を持ったのは何ですか？

<input type="checkbox"/> 楽しそうだから 4名	<input type="checkbox"/> 地域の事に関心があるから 17名	<input type="checkbox"/> 誘われたから 6名	<input type="checkbox"/> センターの開業が楽しみだから 16名	<input type="checkbox"/> その他 4名
--	--	---------------------------------------	--	------------------------------------

Q3 ワークショップのチラシは見ましたか？

<input type="checkbox"/> 見た→どこで見ましたか？ (メール2、学校2、保育園1、HP5、市役所1、回覧板3、チラシ2、未記入3) 19名	<input type="checkbox"/> 見ていない 19名
--	---------------------------------------

【アンケート結果からの気づき】

Q1について：

・「広報まちだ」や「チラシ」が効果的だった。一方では、「その他」の項目が11名と多かった。

「その他内訳」(友人4、家族2、小学校からの連絡2、自治会新聞1、タウン紙1、イベシス1)。南エリアでの告知の際に参考とする。

Q2について：

・「地域の事に関心があるから」「センターの開業が楽しみだから」が、全体の7割を占めた。給食センターへの関心度と期待値が高いと改めて感じた。「その他」については、「卓球場を増やしてほしい」「中学生に食育が必要だから」「給食の提供が出来る」「スポーツセンターの開業が楽しみ」でした。

Q3について：

・「見た」と「見ていない」が同数でした。

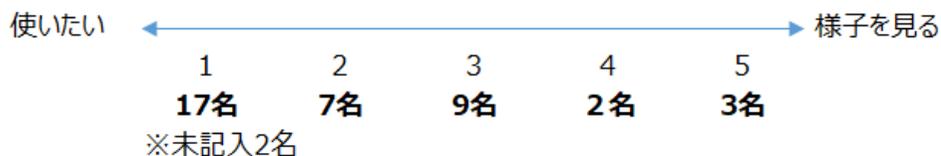
アンケート集計結果

* アンケート回答者数：40名

5. アンケート結果

2. ワークショップに参加して

市民交流スペース



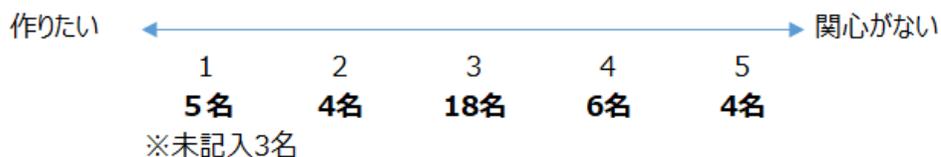
イベント・催事



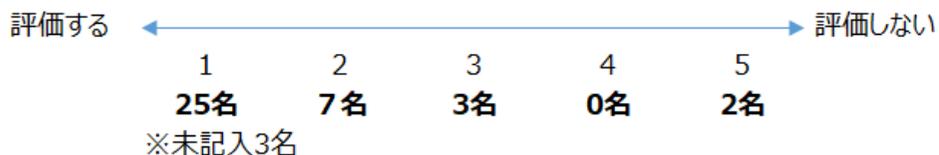
自らイベントを企画したい



グループを作りたい



新たな学校給食センター整備に関して



【アンケート結果からの気づき】

市民交流スペースについて：

・全体の6割以上が、「使いたい」（1～2）と回答。

イベント・催事について：

・全体の7割以上が「参加したい」（1～2）と回答。

自らイベントを企画したいについて：

・全体の2割が、「企画したい」（1～2）と回答。

グループを作りたいについて：

・全体の2割以上が「作りたい」（1～2）と回答。

新たな学校給食センター整備について：

・全体の8割以上が、「評価する」（1～2）と回答。

まとめ：

・給食センターの整備に関しては、8割の方が「評価する」という回答でした。皆様の期待値がとても大きいことを改めて認識することが出来ました。また、カフェ、多目的室、屋内遊戯室など市民交流スペースについては、「使ってみてみたい」「イベントに参加したい」という回答が多く関心度の高さを感じました。一方で、自ら企画意識を持ち、グループや仲間づくりに積極的に取り組むことに対しては「様子を見る」の回答が多く、今後の課題として取り組んで行きます。

アンケート集計結果

5.アンケート結果

【今回整備される機能の他、加えたい・欲しい機能やサービスがある場合にはご記入ください】（抜粋）

【子ども・児童・生徒関連】

- 子ども達が自転車を練習できる広場にしてほしい。
- 子どもを短時間預かってくれる場所づくり。
- 子どもが利用する場合に、見守り機能を設置（スマホで確認できる）。
- 屋外スペースに子どもがボール遊びが出来る場所がほしい。
- 中学生が来場できるようなインスタ映えスペースや飲食スペースの確保。
- 勉強ができるスペースを作ってほしい。ドリンクバーの設置。

【レストラン・食事関連】

- 夏季休暇中の給食提供。テイクアウトサービスの実施。
- 親子料理教室の開催。
- 世代別、バースデイパーティの開催。
- 給食レストラン（道の駅風）。地場野菜の販売。フットパスの休憩所（健康づくり）。
- 給食の充実。センターの中身と中学校での食育を充実させるために市民ともしっかりと協議をすべき。給食センターでは、町田産食材が生かせないと思われる。給食を作る人と食べる人との心が通じない。子どもの心を豊かにしたい。
- おいしいコーヒーの提供。カフェでの給食提供。

【地域連携関連】

- まちベジを購入できる販売コーナーの設置。農家との繋がり。野菜作り教室。野菜アレンジレシピ。
- 陶芸教室、自分たちで出来る料理教室、お祭りなどのイベント開催。
- ハーブ園、野菜園、植樹祭の実施。地元農家の人と交流し話を聞きたい。

アンケート集計結果

5.アンケート結果

【今回整備される機能の他、加えたい・欲しい機能やサービスがある場合にはご記入ください】（抜粋）

【設備・備品関連】

- 屋外広場は、夏は30度を超える為、簡易的な屋根がほしい。
- ハード的なキャパは大きくない設計なので、コンパクトなプログラムの実施ができるとうい。
- 災害時に避難できる防災センター機能。
- 多目的スペースに卓球台を常備してほしい。体育館が出来るのであれば、サークル活動で使用できるようにしてほしい。
- スポーツセンターが出来ると聞いて、健康の為にも卓球台を是非入れてほしい。
- 駐車場・駐輪場を増やしてほしい。
- 市民の避難スペースとなると良い。
- プロジェクター、Wi-Fiの無料。

【その他】

- 利用する際に活用できるネット予約サービス。
- コミュニティバスの運行（町田駅から施設まで）。
- 高齢者が多い地域なので、シニアが元気になれる仲間づくりも含めて良い地域にしたい。
- 町田を学べるパネル展示。
- 質問箱の設置（どなたか回答を書いてくれることで世代を超えた交流が生まれる）。
- 緑を多く残して、竹を使ったプログラム（流しそうめん、工作）を開催してほしい。
- 山崎団地は高齢者が多いため、健康体操などのイベントも取り入れてほしい。
- 観光資源の拠点。ウォーキングなど周辺施設との連携した事業（ふるさと交流館、リス園、薬師池公園、四季彩の杜）。

アンケート集計結果

5. アンケート結果

【今回のワークショップで気づいた事、感じた事をご記入下さい】（抜粋）

【前向きなご意見】

- 各グループの発表を聞き、熱い意見に感動しました。新しい給食センターへの期待が膨らみました。
- 皆さん、たくさんのアイデア、知識、意見をお持ちで驚きました。
- 給食センターのみだと思っていましたが、たくさんの部屋（多目的室、カフェ）を利用できることを知りました。
- 地域の人だけでなく、外部からも人が集まると良いですね。
- メンバーに積極的なアイデア、情報提供者が数人いたことが幸い。小学生が参加してくれて良かった。
- 学校給食を一般の人に知ってもらう良いチャンス。担当する栄養教職員の方々に過重な負担がかからないことを希望します。
- 中学生の居場所を作ってあげたい。
- 色々な年代の方の意見を聞けたので良い機会になりました。完成を楽しみにしています。
- イベントに参加できる日を楽しみにしています。体育館が出来たら友達と一緒にいきたいです。
- 学校給食に興味のある方がこんなに集まるなんて嬉しいです（人数の多さにびっくり）。
- 他の班の意見がとても参考になりました。重なる部分もあり、斬新な意見もあったので良かったです。
- 自分だったらこんなことをやりたいと思っている人がたくさんいらっしゃる事が分かりました。
- 高齢者の生の声を聴くことで、地域の高齢化が深刻であることが分かりました。
- 色々なアイデアがありましたが、共通する部分も多く、学びがありました。
- ワークショップが開催されたいし、皆で交流できたらうれしいです。
- 今春から町田市に引っ越ししてきました。「まちベジ」という地元産の野菜、フルーツ、お米、お花などをより多くの人々に知って、食べて、広め、活性化していけたら素敵だと思います。
- グループの中で、若い方達が多く、前向きな意見がたくさん出ていて地域の活発な発見が楽しみです。

アンケート集計結果

5. アンケート結果

【今回のワークショップで気づいた事、感じた事をご記入下さい】（抜粋）

- 多世代交流の場が少なくなっているこの時代に、「ここに来れば楽しいことがあるし、安心だ」と思える場になるといいなと思いました。
- 皆、よく意見を出して、そこからいろいろな話になってすごいと思いました。
- 皆さん、とても地域の事に興味を持てれていることに驚きました。人と人との繋がりが薄れているのでこういう機会がたくさんあるとよりよい地域づくりが出来ると感じました。
- 「給食センターワークショップ＝子育て世代イベント」と思っていたけど、色々な世代の方が来ていてよかったです。
- 色々な意見を聞いて、自分でもアイデアが出てきたので、話すことって大切だなと思いました。
- 自分は、子育て施設が充実していればよいと思っていましたが、食に困っている高齢者の方が多いと、初めて知りました。
- 話し合いによる施設の運用を考えていくことは、面白い試みだと感じました。
- この会は、よかったですね。各自、意見を素直に出されていました。これなら良い方向に進むと思います。関心のある方の集まりは、楽しかったです。
- カフェで給食を食べると料金から募金できるシステムがあるとよいと思いました。
- 給食センターの機能性だけでなく、総合コミュニティ施設として、地域の方に認識してもらうかが重要だと思いました。

【今後の課題】

- 地元の方の期待が大きく、また、マナー違反の利用者がいると迷惑になることを改めて感じました。
- 会場が狭くて、話し声が聞き取りにくかった。
- 給食室を「工場」と言うのは、やめて頂きたい。
- 今日の中で聞いてみたいことがあるので、次回聞いてみたいと思います。

次回への課題

6.課題・反省点

【今回のワークショップ参加者の声】（抜粋）

- メンバーに積極的なアイデア、情報提供者が数人いたことが幸い。小学生が参加してくれて良かった。
- 今日の中で聞いてみたいことがあるので、次回聞いてみたいと思います。
- 会場が狭くて、話し声が聞き取りにくかった。
- 給食室を「工場」と言うのは、やめて頂きたい。
- グループの中で、若い方達が多く、前向きな意見がたくさん出ていて地域の活発な発見が楽しみです。
- 自分は、子育て施設が充実していれば良いと思っていましたが、食に困っている高齢者の方が多いと、初めて知りました。

【課題・反省点】

- 参加人数と班分けを想定し、会場の広さや、マイクの設置等事前に会場の確認をしておく。
- 多世代が参加できるような事前準備が必要。小学生や高齢者がいる班は、様々な視点からのアイデアが多くとても参考になったとの意見が多かった。ワークショップの告知方法などを見直していく必要がある。
- 班でのファシリテーター（司会及び発表者）は、30代～50代の方が多く、この世代の参加が重要。
- 参加者全員が、意見を言えるように、ファシリテーターを含む関係者がきめ細かいサポートを継続して行う。
- 給食を作る側と、食べる側の見解の違いもあると思うが、給食センターを工場と言わないようにする。

開催報告

7.閉会挨拶

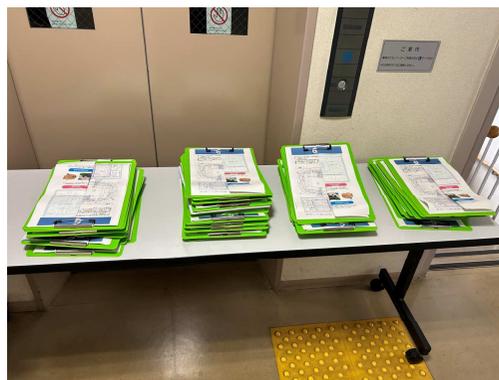
町田中学校給食株式会社 代表 嶋津厚志

【ワークショップの総評】

今まで、かなり多くのワークショップを開催してきたが、町田市民の積極的な意見交換や斬新なアイデアなどとても質の高いワークショップとなりました。市民の方が行政に関心をもってきていると実感しました。大変、市民力が高いと感じました。本日のワークショップで出た意見については、全て取り入れられることはできませんが、直ぐに出来るもの、時間をかけて行っていくものがあると感じました。現在、ホームページを作成中ですが、本日のワークショップも含め、準備ができた次第、給食センターの情報を公開していきます。この給食センターが、皆様の地域のシンボルとなるように、また、皆様が本日のワークショップを開催して良かったなと思って頂けるように準備して参りますので宜しくお願いします。

本日は、暑い中、お集まり頂き、本当にありがとうございました。

【ワークショップの様子】



トピックス

参考資料

【中学校給食センターの愛称アンケート結果】

施設の愛称につける地名を七国山（ななくにやま）に決定



【子ども達が飽きないように塗り絵コーナーを設置】



【その他資料】

～食べて 遊んで 学ぶ～

地域に開く新たな学校給食センター

市民主体の交流スペースとなるように参加型ワークショップを開催します

2024年8月10日(土) 10時30分～12時

会場 木曾山崎コミュニティセンターB館大会議室
町田市山崎町2160-4 / TEL:042-793-3030

定員 50名 **参加費** 無料 **お土産付き**

対象 どなたでも

【新設の施設】
キッチン付き多目的スペース
おしゃれなカフェ
天候気にせず遊べる屋内遊戯室
多目的遊具付き広場

お申込み方法・お問い合わせ先
イベント専用ダイヤルもしくはイベント申し込みシステム(イベントコード: 240703D-A)

●イベント専用ダイヤル: TEL 042-724-5656 (受付期間: 7月31日12時～7月31日19時まで)
●イベント申し込みシステム: (受付期間: 7月31日12時～7月31日23時59分まで)

町田市教育委員会学校教育部保健給食課
TEL:042-724-2177 (平日8時30分～17時) メール: ec1.ty520@city.ty.machi.da.tokyo.jp

【市民向け告知配布資料】

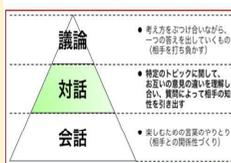
地域に開く新たな学校給食センター-市民交流スペースワークショップ

本日のワークショップは、**ワールドカフェでの対話方式で実施します。**

紙に、ニックネームや名前を書きましょう。班ごとに、司会、最後の発表する方を決めましょう。
ファシリターより問いを3つお聞きします。その問いに沿って班で対話を進めましょう。

【対話のエチケット】

- 問いに集中して対話を楽しみましょう
- あなたの考えを積極的にお話ししましょう
- 話は短く、簡潔にしましょう
- 相手の話に耳を傾けましょう
- さまざまなアイデアの関係を考え、アイデアを驚かせてみましょう
- 遊び心で、いたずら描きをしたり、絵を描いたりしましょう
- 思い切ったぶつとび意見提案OK! 乗っかりOK! 賛成OK!!



- 問1 「キッチン付き多目的スペース、室内遊戯室等をどのように活用したいですか。」
- 問2 「市民交流スペースでどのようなイベントや催事をやりたいですか、また開催してほしいですか。」
- 問3 「ここは食べて、遊んで、学べます。誰と来たいですか。誰とお友達に、仲間になりたいですか。」

地域に開く新たな学校給食センターワークショップアンケート

1. ワークショップ参加のきっかけ

- Q1.ワークショップの開催は何を通じて知りましたか?
 広報まちだ 市ホームページ メール(tetoru/teams含む) チラシ その他)
- Q2.参加を決めるにあたって一番興味をもったのは何ですか?
 楽しそうだから 地域のことに関心があるから 話われたから センターの開業が楽しみだから その他)
- Q3.ワークショップのチラシは見ましたか?
 見た→どこで見ましたか?() 見ていない

2. ワークショップに参加して

今日整備される機能の他、加えたい・欲しい機能やサービスがある場合はご記入ください。

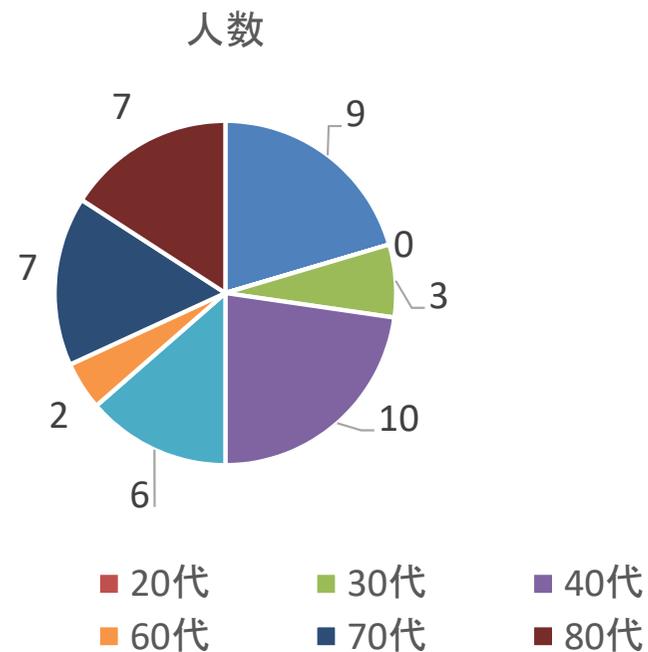
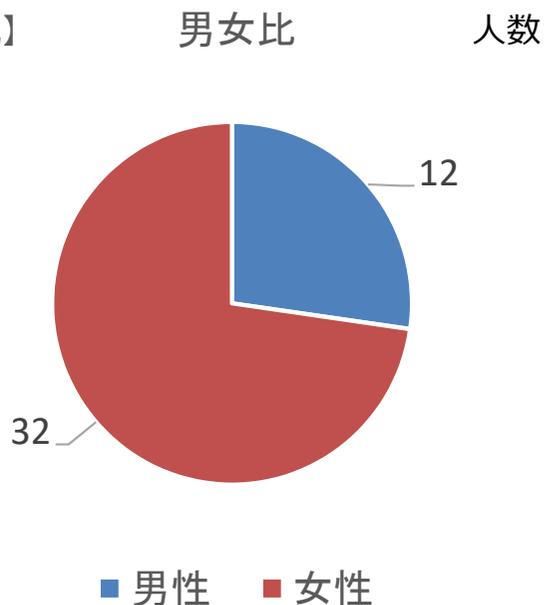
市民交流スペース	使いたい	1	2	3	4	5	様子を見る
イベント・催事	参加したい	1	2	3	4	5	様子を見る
自らイベントを企画したい	企画したい	1	2	3	4	5	様子を見る
グループを作りたい	作りたい	1	2	3	4	5	関心がない
新たな学校給食センター整備に関して	評価する	1	2	3	4	5	評価しない

今日のワークショップで気付いた事、感じた事をご記入ください。

トピックス

参考資料

【参加者の年齢構成】



- 参加人数は44名。
- 男女比は、男性12名（18%）、女性32名（72%）と女性が7割を占めた。
- 年代別では、40代（10名）が最も多く、班の中で、ファシリテーターとしての活躍が目立った。次に10代（9名）が多く、小学生の参加もあった。また、70代以上も14名参加しており、様々な視点からの意見があり活発な議論となりました。

